

## 特定非営利活動法人静岡市身体障害者団体連合会

### 令和3年度事業計画書(案)

本連合会は、平成23年4月に特定非営利活動法人(NPO法人)に移行して10年が経過した。この間、国においては、障害者権利条約の批准を機に、関連する重要な法律が相継いで整備され、障害者施策の充実も進んできている。

一方、昨年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を目前に、思いもよらない新型コロナウイルス感染症が拡大し、又近時の変異株の出現等により我が国はもちろん全世界に感染が波及する状況になり、昨年度予定した多くの事業が延期または中止となるなど、経済の問題を含めこの閉塞感を一刻も早く終息するよう願うばかりである。

さて、令和3年度については、コロナ禍の影響により予定した事業の実施が可能かどうか今後の推移を見極めなければならないが、身障連としては、予定した事業を可能な限り実施すべく準備を進めていくこととしている。そのためには、会員の健康維持を最優先に、加えて他への感染拡大の阻止等万全な対策を講じて計画、準備を進めていくこととしている。

身障連としては、私たち障害当事者をはじめ、市民による障害理解と啓発が大事なことと位置づけ、今後とも日身連や政令指定都市連絡協議会と連携を図りながらその役割を果たしていきたいと考えている。

また、引き続き、更生相談、文化、体育、女性、防災各部が主体となって事業の推進を図り、会員の社会参加の促進と自立・充実した生活を共に送れるよう取り組んで参りたい。

今年度の事業を推進していく上で、様々な課題もあるが、今後とも静岡市障害福祉企画課及び各福祉事務所また、関係団体等と連携をとりながら、下記事項を主な重点目標として取り組んでまいりたい。

#### 記

1. 組織の充実と会の活性化  
構成団体との連携を更に強固なものとし、各事業の円滑な推進を図ると共に、新会員の確保に努め組織の活性化を図る。
2. 自主事業の促進  
会員が積極的に参加しやすい、研修会、スポーツ・文化関係等の行事を各部が主体となって企画・実施し社会参加の促進と自立機運の醸成を図る。
3. 相談員活動の充実  
障害の高度・重度化、施策の複雑・多様化する相談内容に対処するため、研修内容を充実し資質の向上と責任体制の確立を図る。また、静岡市障害者協会所管の「障害者110番」事業に相談員を引き続き派遣することとしている。
4. 防災意識の高揚  
大規模地震をはじめ、火災・風水害等各種の災害に対する意識を高めるため、より効率的、実践的な研修会等を実施する。